

回 答 書

2021年11月18日

株式会社 JR 東日本ステーションサービス

新型コロナウイルスの感染拡大から約2年が経過しました。この間、社員の皆さん一人ひとりが感染防止対策を一丸となって取り組みながら、日々の業務に真摯に取り組んでいただいていることに対し、心より感謝いたします。

当社の2021年度第2四半期決算は減収減益となり純損失を計上する大変厳しい状況となりました。営業収益は大幅なコストダウンに伴う受託契約額の見直しにより減少しましたが、このような状況下においても、費用においては将来を担う社員の新規採用や社員一人ひとりが主役となって当社の将来を創り上げるうえで必要不可欠な Microsoft365 の導入及びタブレット端末の増配備等を着実に推進することができました。一方で、JR 東日本グループの連結決算においては、前年度コロナ影響の反動で増収となったものの、全てのセグメントにおいてコロナ前の水準には回復せず、第2四半期決算として過去2番目に低い営業収益となり、2期連続で営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。また、JR 東日本グループの2021年度の通期（1年間）の業績見通しも、黒字予想から赤字へと下方修正せざるを得ない状況となり、依然として厳しい経営状況にあります。

しかしながら、JR 東日本グループとしては、今年度も下期に限ると営業利益黒字の可能性はあると見込んでおり、当社の通期業績予想も当初計画で黒字を見込んでいます。コロナ禍による人々の価値観や生活様式の大きな変化にも対応し、JR 東日本グループが持続的に成長していくための構造改革を推進していくうえで、「駅業務サービスの戦略会社」である当社の果たすべき役割の重要性は一層高いものとなっています。さらなる業務品質の向上や効率的で生産性の高い業務執行を継続して実践していく他、コストダウンについても引き続き、社員一丸となって取り組んでいかなければなりません。

以上を踏まえ、これまでの新型コロナウイルス感染防止対策や「3つの駅づくり」の実現に向けて日々の業務に精励されている社員の皆さんの労に報いるとともに、中期経営計画「JESS ビジョン 2023-MOVE-」のもと、この年末年始を含め、より多くのお客さまのご利用を促し、より品質の高いサービスの提供を目指し、社員一人ひとりがウイズコロナの状況下において、創意工夫しながら、会社の持続的成長につながる MOVE を生み出していくことを強く期待して、2021年度年末賞与について下記のとおり回答します。

記

1 基準額

社員	基本給月額の 2.35 箇月分
契約社員	基本給月額の 1.04 箇月分
パート社員	(1) 労働実績が週平均 30 時間以上の者 100,000 円 (2) 労働実績が週平均 10 時間以上 30 時間未満の者 60,000 円 ※ 2021年11月1日現在在籍し、2021年度上期各月に労働実績がある者に限る。 ※ その他、雇用契約書の定めによる。

2 加算額

社員について、前項の基準額に 10,000 円を加算します。

(平均年齢 29.4 歳 平均支給額 511,803 円)

3 支給日

2021年12月2日(木)以降準備出来次第

以上